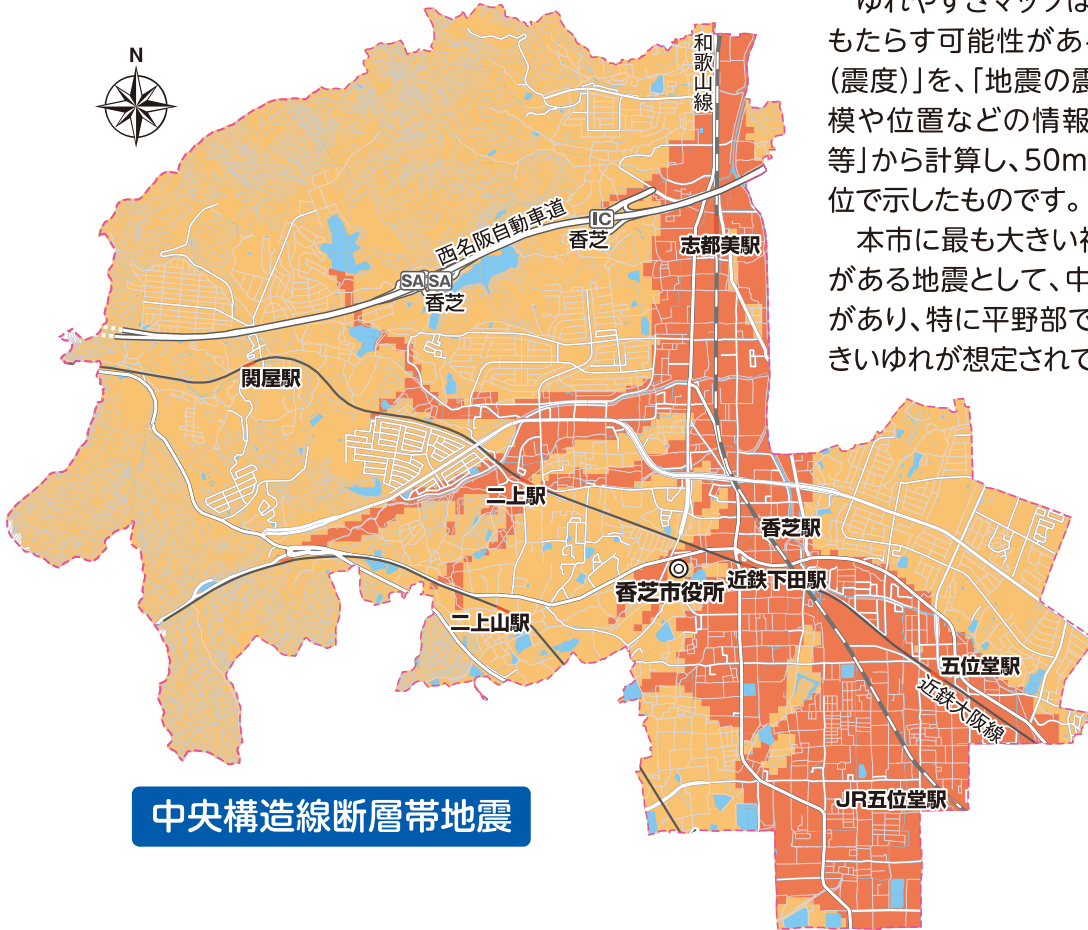




地震に関する情報

ゆれやすさマップについて



ゆれやすさマップは、本市に大きい被害をもたらす可能性がある地震の「ゆれやすさ（震度）」を、「地震の震源となる断層等の規模や位置などの情報」と「市内の地盤条件等」から計算し、50mメッシュごとの地域単位で示したものです。

本市に最も大きい被害をもたらす可能性がある地震として、中央構造線断層帯地震があり、特に平野部では、震度7と非常に大きいゆれが想定されています。

震度凡例	
	震度5強
	震度6弱
	震度6強
	震度7

中央構造線断層帯地震

その他本市に大きな被害をもたらす主な地震



震度と揺れ等の状況(概要)

- 震度5強** 物につかまらなると歩く事が難しい。棚の食器類や本で落ちるものが多くなる。補強のないブロック塀が崩れることがある。
- 震度6弱** 立っている事が困難になる。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。
- 震度6強** はわなないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。
- 震度7** 耐震性の低い鉄筋コンクリート建物は、倒れるものが多くなる。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。

